

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日（\_\_\_\_曜日）\_\_\_\_\_時\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

### <株式の状況>

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日現在の株主総数 \_\_\_\_\_名

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日現在の発行済株式総数 \_\_\_\_\_株

本総会において議決権を行使することができる株主の数 \_\_\_\_\_名

上記株主の議決権数 \_\_\_\_\_株

### <出席株主の状況>

合計 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

(内訳) 本日出席株主（委任状提出株主を含む） \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

議決権行使書面提出株主 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

### 1. 議 題

第1号議案：\_\_\_\_\_（以下、「委託者」という。）と広島県信用保証協会との信用保証委託契約について当社が連帯保証する件  
委託者が広島県信用保証協会に対し信用保証委託をなし同協会の保証を得て\_\_\_\_\_より受ける（金・極度額金）\_\_\_\_\_円也の（貸付・手形割引・当座貸越）についての委託者と同協会との信用保証委託契約について当社が連帯保証する。

第2号議案：利益相反取引承認の件  
当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

(会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会

議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ ④

議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ ④

取締役 \_\_\_\_\_ ④

監査役 \_\_\_\_\_ ④

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

(会社) \_\_\_\_\_ ④

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_曜日) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

### <株式の状況>

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の株主総数 \_\_\_\_\_名  
\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の発行済株式総数 \_\_\_\_\_株  
本総会において議決権を行使することができる株主の数 \_\_\_\_\_名  
上記株主の議決権数 \_\_\_\_\_株

### <出席株主の状況>

合計 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株  
(内訳) 本日出席株主(委任状提出株主を含む) \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株  
議決権行使書面提出株主 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

## 1. 議 題

第1号議案：\_\_\_\_\_ (以下、「委託者」という。)と広島県信用保証協会との信用保証委託取引  
に関し当社所有の不動産を担保提供する  
委託者が広島県信用保証協会に対し信用保証委託をなし同協会の保証を得て金融機関より現在および将来受ける貸付・手形割引・当座貸越について、当社は同協会が将来取得する求償権、信用保証料および損害金等債権についての下記根抵当権に対し当社所有の下記不動産を担保として提供する。

### (1) 根抵当権の表示

根 抵 当 権 者 広島県信用保証協会  
債 務 者 \_\_\_\_\_  
極 度 額 金 \_\_\_\_\_円也  
被担保債権の範囲 信用保証委託取引によるいっさいの債権  
確 定 期 日 定めない

### (2) 不動産の表示

所在地	地番	地目・種類・構造	地積・床面積

### 第2号議案：利益相反取引承認の件

当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

(会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会

議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ (印)

議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ (印)

取締役 \_\_\_\_\_ (印)

監査役 \_\_\_\_\_ (印)

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

(会社) \_\_\_\_\_ (印)

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_曜日) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

### <株式の状況>

_____年_____月_____日現在の株主総数	_____名
_____年_____月_____日現在の発行済株式総数	_____株
本総会において議決権を行使することができる株主の数	_____名
上記株主の議決権数	_____株

### <出席株主の状況>

合計_____名_____株	
(内訳) 本日出席株主(委任状提出株主を含む)	_____名_____株
議決権行使書面提出株主	_____名_____株

### 1. 議 題

第1号議案：\_\_\_\_\_ (以下、「委託者」という。)と広島県信用保証協会との信用保証委託取引  
 に関し当社所有の不動産を担保提供する件  
 委託者が広島県信用保証協会に対し信用保証委託をなし同協会の保証を得て\_\_\_\_\_  
 より受ける金\_\_\_\_\_円也の(貸付・手形割引)についての委託者と同協会との信用  
 保証委託契約に基づき同協会が将来取得する求償権、信用保証料および損害金等債権について  
 の下記抵当権に対し当社所有の下記不動産を担保として提供する。

#### (1) 根抵当権の表示

抵 当 権 者	広島県信用保証協会
債 務 者	_____
債 権 額	金_____円也

#### (2) 不動産の表示

所在地	地番	地目・種類・構造	地積・床面積

#### 第2号議案：利益相反取引承認の件

当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。  
 上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日  
 (会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会  
 議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ (印)  
 議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ (印)  
 取締役 \_\_\_\_\_ (印)  
 監査役 \_\_\_\_\_ (印)

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日  
 (会社) \_\_\_\_\_ (印)

【利益相反取引にならない場合は、第2号議案を削除すること】

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日（\_\_\_\_\_曜日）\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

<株式の状況>

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の株主総数 \_\_\_\_\_名

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の発行済株式総数 \_\_\_\_\_株

本総会において議決権を行使することができる株主の数 \_\_\_\_\_名

上記株主の議決権数 \_\_\_\_\_株

<出席株主の状況>

合計 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

(内訳) 本日出席株主（委任状提出株主を含む） \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

議決権行使書面提出株主 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

### 1. 議 題

第1号議案：念書（代位権の特約）の承認の件

(ア) 広島県信用保証協会が委託者 \_\_\_\_\_（以下、「委託者」という。）との間の \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日付信用保証委託契約に基づき金融機関 \_\_\_\_\_（以下、「金融機関」という。）に対し代位弁済したときは、同協会が当社所有の下記物件に対する根抵当権の全部について金融機関に代位し、上記信用保証委託契約の求償権の範囲内でその根抵当権を行うことができる旨確約すること。

(イ) 当社が委託者に代わり金融機関に対して弁済をしたとき、又は上記根抵当権が実行されたときは、金融機関が同協会に対して有する保証契約上の権利に代位しない旨確約すること。

記

(1) 根抵当権の表示

根 抵 当 権 者 金融機関 \_\_\_\_\_

債 務 者 委託者 \_\_\_\_\_

極 度 額 金 \_\_\_\_\_円也

被担保債権の範囲 \_\_\_\_\_

確 定 期 日 定めない

(1) 不動産の表示

所在地	地番	地目・種類・構造	地積・床面積

第2号議案：利益相反取引承認の件

当社が上記行為をするにあたり、当社取締役 \_\_\_\_\_ は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

(会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会

議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ (印)

議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ (印)

取締役 \_\_\_\_\_ (印)

監査役 \_\_\_\_\_ (印)

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

(会社) \_\_\_\_\_ (印)

【利益相反取引にならない場合は、第2号議案を削除すること】

# (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (\_\_\_\_曜日) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

### <株式の状況>

_____年_____月_____日現在の株主総数	_____名
_____年_____月_____日現在の発行済株式総数	_____株
本総会において議決権を行使することができる株主の数	_____名
上記株主の議決権数	_____株

### <出席株主の状況>

合計_____名_____株	
(内訳) 本日出席株主 (委任状提出株主を含む)	_____名_____株
議決権行使書面提出株主	_____名_____株

## 1. 議 題

第1号議案：\_\_\_\_\_ (以下、「委託者」という。) の債務引受の件  
 委託者の事業を承継するについて、委託者が広島県信用保証協会の保証付にて借受けたる下記借入金債務を当社が債務引受すること。  
 並びに委託者が広島県信用保証協会と締結した信用保証委託契約に基づき、負担したいっさいの債務を当社が債務引受すること。

### (1) 借入金債務の表示

借入金金融機関	当初借入額	借入現在額	借入年月日	支払期日	借入形式

第2号議案：利益相反取引承認の件  
 当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者と同一人のため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。  
 上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日  
 (会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会  
 議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ (印)  
 議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ (印)  
 取締役 \_\_\_\_\_ (印)  
 監査役 \_\_\_\_\_ (印)

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日  
 (会社) \_\_\_\_\_ (印)

【利益相反取引にならない場合は、第2号議案を削除すること】

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (\_\_\_\_曜日) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分から\_\_\_\_\_時\_\_\_\_分

1. 開催場所：\_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

### <株式の状況>

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の株主総数 \_\_\_\_\_名  
\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日現在の発行済株式総数 \_\_\_\_\_株  
本総会において議決権を行使することができる株主の数 \_\_\_\_\_名  
上記株主の議決権数 \_\_\_\_\_株

### <出席株主の状況>

合計 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株  
(内訳) 本日出席株主 (委任状提出株主を含む) \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株  
議決権行使書面提出株主 \_\_\_\_\_名 \_\_\_\_\_株

## 1. 議 題

第1号議案：\_\_\_\_\_ (以下、「委託者」という。)の債務引受の件

委託者が広島県信用保証協会の保証付にて借受けたる下記借入金債務を当社が重畳的に債務引受すること。

並びに委託者が広島県信用保証協会と締結した信用保証委託契約に基づき、負担したいっさいの債務を当社が重畳的に債務引受すること。

(1) 借入金債務の表示

借入金融機関	当初借入額	借入現在額	借入年月日	支払期日	借入形式

第2号議案：利益相反取引承認の件

当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

(会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会

議長 代表取締役社長 \_\_\_\_\_ (印)

議事録作成者 取締役 \_\_\_\_\_ (印)

取締役 \_\_\_\_\_ (印)

監査役 \_\_\_\_\_ (印)

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

(会社) \_\_\_\_\_ (印)

## (定時・臨時) 株主総会議事録 (例)

1. 開催日時: \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日(\_\_\_\_曜日) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分から\_\_\_\_時\_\_\_\_分

1. 開催場所: \_\_\_\_\_

定刻、\_\_\_\_\_が定款の規定に基づき議長となり、開会を宣言するとともに、下記のとおり本総会の議案の決議に必要な定足数を満たす株主が出席している旨、報告された。

<株式の状況>

_____年____月____日現在の株主総数	_____名
_____年____月____日現在の発行済株式総数	_____株
本総会において議決権を行使することができる株主の数	_____名
上記株主の議決権数	_____株

<出席株主の状況>

合計_____名_____株	
(内訳) 本日出席株主(委任状提出株主を含む)	_____名_____株
議決権行使書面提出株主	_____名_____株

### 1. 議 題

第1号議案: \_\_\_\_\_(以下、「委託者」という。)と広島県信用保証協会との信用保証委託契約について当社が連帯保証する件  
委託者が\_\_\_\_\_との間の(当座貸越・手形割引・手形貸付)根保証(極度額\_\_\_\_\_円也)について、広島県信用保証協会が委託者との\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日付信用保証委託契約(以下「本契約」という。)に基づき保証しており、当社は本件契約に連帯保証している。今般、広島県信用保証協会の保証期間が\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日付で到来するため、本件契約に基づく求償債務その他いっさいの債務につき、当社が引き続き連帯保証すること。

第2号議案: 委託者と広島県信用保証協会との信用保証委託取引に関し当社所有の不動産を担保提供する件  
委託者が広島県信用保証協会との信用保証委託取引から生ずるいっさいの債権を担保するため、下記根抵当権に対し当社所有の下記不動産を担保として提供しているが、上記のとおり当社の保証延長に伴い、同不動産を引続き担保として提供すること。

#### (1) 根抵当権の表示

根 抵 当 権 者	広島県信用保証協会
債 務 者	_____
極 度 額	金_____円也
被担保債権の範囲	信用保証委託取引によるいっさいの債権
確 定 期 日	定めない

#### (2) 不動産の表示

所在地	地番	地目・種類・構造	地積・床面積

#### 第3号議案: 利益相反取引承認の件

当社が上記行為をするにあたり、当社取締役\_\_\_\_\_は委託者の取締役を兼務しているため、利益相反取引となることから、会社法の規定により株主総会の承認を求める。

議長は、上記議案の趣旨を説明し、諮ったところ満場一致の決議を以って可決承認された。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長および出席取締役、監査役は下記へ署名捺印する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

(会社名) \_\_\_\_\_ (定時・臨時) 株主総会

議長 代表取締役社長	_____	Ⓜ
議事録作成者 取締役	_____	Ⓜ
取締役	_____	Ⓜ
監査役	_____	Ⓜ

上記は議事録の原本と相違ないことを認証する。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

(会社) \_\_\_\_\_ Ⓜ